

## 平成18年度需給計画の上半期（4月～9月）の実施状況（報告）

平成18年度の需給計画の実施状況について、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第26条第3項の規定を踏まえ、以下のとおり報告する。

1. 平成18年度に国内において製造され、又は輸入されるべきとした血液製剤の種類及び量の目標と実績（4月～9月）

製造及び輸入量は概ね順調に推移している。

（製造・輸入量実績は、別表の①欄のとおり）

2. 平成18年度に原料血漿から製造されるべきとした血液製剤の種類及び量の目標と実績（4月～9月）

国内献血由来の原料血漿からの製造量は概ね順調に推移している。（製造量実績は、別表の②欄のとおり）

3. 平成18年度に必要と見込んだ血液製剤の種類及び量と供給実績（4月～9月）

これまでのところ供給量は概ね順調に推移している。

（供給量実績は 別表の③欄のとおり。）

4. 平成18年度の原料血漿確保目標量と実績（4月～9月）

原料血漿の確保は、これまでのところ順調に推移している。

確保目標量 93万リットル

確保量 48万リットル（達成率52%）

5. 原料血漿の配分について

血液製剤の製造業者への原料血漿配分については、7月に日本製薬(株)より3万リットルの追加要望があり、平成18年度の原料血漿確保目標量を定めた際の上乗せ分3万リットルをもって追加配分することとした。なお、今年度9月末までの原料血漿確保状況からみて、原料血漿の確保量は計画どおり実行できると見込まれる。

## 平成18年度の血漿分画製剤の需給状況(4月～9月実績と需給計画との比較)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		17年度	18年度 (上半期)
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	1,843,500 (55.0%) 3,353,100	1,095,500 (58.7%) 1,866,500	1,658,700 (51.0%) 3,255,500	53.7%	55.9%
乾燥人フィブリノゲン	1g	2,100 (67.7%) 3,100	2,100 (67.7%) 3,100	1,500 (60.0%) 2,500	100.0%	100.0%
組織接着剤	接着面積(cm2)	4,967,800 (51.8%) 9,581,500	2,409,400 (56.7%) 4,250,000	5,056,900 (54.3%) 9,308,100	45.3%	49.1%
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	105,000 (30.9%) 339,700	46,200 (35.6%) 129,700	155,800 (47.4%) 328,900	39.3%	35.7%
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	21,100 (56.3%) 37,500	21,100 (56.3%) 37,500	20,600 (56.6%) 36,400	100.0%	100.0%
インヒビター製剤	延べ人数(人)	5,500 (44.7%) 12,300	0 0	7,400 (74.0%) 10,000	0.0%	0.0%
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	62,200 (38.8%) 160,400	0 0	66,100 (48.1%) 137,300	0.0%	0.0%
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	6,600 (22.3%) 29,600	6,600 (22.3%) 29,600	22,300 (74.8%) 29,800	100.0%	100.0%
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	870,300 (58.4%) 1,490,800	795,400 (58.5%) 1,359,900	698,300 (53.1%) 1,315,400	88.6%	90.1%
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	8,000 (36.7%) 21,800	0 (0.0%) 600	10,600 (44.7%) 23,700	2.6%	2.2%
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	3,300 (47.1%) 7,000	0 0	4,700 (52.2%) 9,000	0.0%	0.0%
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	57,800 (50.8%) 113,800	0 0	43,700 (58.1%) 75,200	0.0%	0.0%
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	243,500 (71.5%) 340,600	231,900 (70.6%) 328,600	214,100 (55.2%) 387,800	94.9%	96.7%
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	640 (213.3%) 300	640 (213.3%) 300	200 (66.7%) 300	100.0%	100.0%
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	21,700 (52.7%) 41,200	21,700 (52.7%) 41,200	20,500 (46.7%) 43,900	46.7%	100.0%
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	340 0	0 0	280 (44.4%) 630	0.0%	0.0%

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。